

助動詞す・さす・しむ

す・さす・しむ：(使役・尊敬) ↓未然形に接続

しむ	さす	す
しめ	させ	せ
しめ	させ	せ
しむ	さす	す
しむる	さする	する
しむれ	さすれ	すれ
しめよ	させよ	せよ
使役 尊敬		

① 使役：(〜セル・〜サセル)

② 尊敬：(〜ナサル・オ〜ニナル)

ポイント

① 「す(せ)」・「さす(させ)」・「しむ(しめ)」の直後に
 尊敬語(給ふ・おはします)がなかったら絶対使役。

単独の「す」「さす」「しむ」は使役と覚えておこう

・ 今日、破籠^{わりご}持た^せて来たる人

・ さるは、便りごとに物も絶えず得させたり。

② 「す」・「さす」・「しむ」が尊敬の時は直語に尊敬語がある

ただし「す」・「さす」・「しむ」の直語に尊敬語があっても「す」・「さす」・「しむ」は使役の時もあるので注意

・御帳みちやうのうちを通らせ給たまふ(尊敬)

・隨身ずいじんにうたはせ給たまふ(使役)

・源氏の物語を人に読ませ給たまひつつ(使役)

↓
◎

◎ 「す」・「さす」・「しむ」の上に対象を表す格助詞「に」があつたら使役と覚えておこう(「に」の上はほとんど人物)。

※ 「す」は四段・ナ変・ラ変の未然形(Ⅱ a 段)に接続し、「さす」はそれ以外の未然形(Ⅱ a 段以外)に接続。

動詞（正格活用）

上一段活用

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	
見る	○	み	み	みる	みる	みれ	みよ	マ
着る	○	き	き	きる	きる	きれ	きよ	カ
射る	○	い	い	いる	いる	いれ	いよ	ヤ
居る	○	ゐ	ゐ	ゐる	ゐる	ゐれ	ゐよ	ワ
率る	○	ゐ	ゐ	ゐる	ゐる	ゐれ	ゐよ	ワ

① 「干る」 「射る」 「着る」 「見る」

「煮る」 「似る」 「居る」 「率る」

② 「射る」 はヤ行

③ ゐる（ワ行）

「居る」 いる・すわる

「率る」 引き連れる